

表1 昭和54年度人間ドック実施状況

医療機関	委託人員	検診料	備考
県保健衛生協会	430	男女 40,000 45,000	1泊2日
済生会福島病院	50	41,000	〃
太田総合熱海病院	387	53,000	〃
公立岩瀬病院	30	53,000	〃
公立小野町総合病院	30	50,350	2泊3日
会田病院	30	46,000	1泊2日
塙厚生病院	30	50,000	2泊3日
県立会津総合病院	150	54,140	〃
竹田総合病院	100	53,000	1泊2日
磐城共立病院	120	50,000	2泊3日
松村総合病院	150	51,000	1泊2日
東北中央病院	144	男女 47,980 49,580	2泊3日
合計	1,651	平均48,860	自己負担 8,000

表2 昭和53年度人間ドック実施結果分類表

検査項目	受診者	指導基準			
		A	B	C	D
一般理学	1,488	907	299	257	25
呼吸器系	1,601	1,208	329	58	6
循環器系	1,601	722	452	244	183
消化器系	1,601	818	532	199	52
腎機能	1,551	1,253	249	41	8
胆のう	1,468	1,325	106	24	13
肝機能	1,601	1,389	138	57	17
糖尿病	1,521	845	471	171	34
血液系	1,600	1,333	208	41	18
血清	1,358	1,332	20	5	1
外科	307	236	49	9	13
耳鼻咽喉科	938	808	100	14	16
歯科	120	12	47	6	55
眼科	1,586	1,107	402	47	30
皮膚科	299	276	2	1	20
婦人科	473	374	56	17	26

※指導上の区分(表2・図1共通)

- A…異常なし。
- B…わずかに異常は認められるが日常生活上異常なし。
- C…日常生活上注意を要する。改めて精密検査を要する。
- D…治療を要する。

(二) 婦人科検診
女子教職員の成人病予防として三十歳以上の女子教職員を対象として子宮ガン検診を、また三十五歳以上の女子教職員を対象に乳ガン検診を実施し、子宮ガン、乳ガンの早期発見、早期治療に努めている。子宮ガン検診の実施

また、主な検査項目の年齢別を見ると図1のとおりであるが、消化器系については若年齢ほど要精検、要治療と診断された者が多くなっている。

(一) 短期人間ドック
教職員の成人病予防の一環として、四十歳以上の教職員を対象に県内外の一、健康管理事業

教職員の福祉厚生事業については、健康管理事業、元氣回復事業、慶弔共済事業、住宅事業、生活援護事業があるが、本県においては、健康管理及び住宅事業を最重点事業として実施している。

福祉・厚生事業の現況

総合病院等において、一泊二日又は、二泊三日の日程で身体の詳細にわたる検査を行い、疾病の早期発見、早期治療に努めている。

検診実施年齢は、検診希望が多いため、受診機会の均等を図るため、四五歳を最優先として、五十歳、五十五歳、四十歳に該当する者を五年サイクルで実施している。

なお、五十六歳以上の教職員については互助会にて実施している。本年度の申込状況は、千六百五十一人の実施予定に対し、二千三十人の受診希望者があり、計画を大幅に上回ったので四十歳の希望者は全員補欠受診

図1 昭和53年度人間ドック検査項目別年齢別結果状況

